

なる心もちを持つて理想に突進するのは、鐵山労働者のみである。吾人は此天下に
耻ぢざる坑夫精神が労働運動の大成に大に力となることを疑はない。
以上は坑夫精神の美處を挙げたのであるが、他方に亦缺點も存する。即ち勇氣
に走る結果粗暴となつて自他の生命を輕するが如き、怠惰を好んで上長に賄賂
を贈るが如き、また金銭に眼がくらんで資本家の犬となるが如き弊風は一日も早
く打破せねばならないのである。

以上の如く坑夫は都市労働者に比し大なる特色を持つてゐるが不幸にして其地
位は都市一部の労働者ほど向上して居らぬ。即ち賃銀が安い。また激しい労働の
割合に時間が長い。住宅も粗末である。食料品も不充分である。更に山間僻地
に存在する關係上智識の進歩が妨げられるのである。斯くの如きは吾人の先づ打
破しなければならぬ處である。

第三章 我國坑夫の労働運動方法

日本労働運動の前提と我國坑夫の特質とは上に述べたる如くである。然らば坑
夫諸君は労働運動に對し如何なる根本原則を採らねばならぬのであるか。吾人は
それを次の六であると信じる。

- 一、自覺團結すること
 - 二、傳統的精神を失はざること
 - 三、全國的統一を計ること
 - 四、公正の態度を持つること
 - 五、外國坑夫組合の長處を採ること
 - 六、都市労働者と適當の聯合をなすこと
- 次に一々について論じる。